



## 海自幹部候補生入校予定者が広島へ



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月8日（水）と9日（木）、海上自衛隊幹部候補生学校（広島県江田島市）及び呉地方総監部（同県呉市）で行われた研修に、海上自衛隊幹部候補生入校予定者を率した。

これは、来春の入校予定者に対しこれから進む海上自衛隊を身近に感じてもらい、入校への意欲・意思を高めてもらう目的で行われ、静岡地本からは、二人が参加した。

初日は、まず幹部候補生学校を訪問し、概要説明の後に学校長の挨拶があり、入校予定者は少し緊張した面持ちで含蓄のある話を聞いていた。

その後、校内の施設見学及び学生との懇談が行われ、和やかな雰囲気の中今年入校した先輩から学校生活や入校までの準備などについてアドバイスを受けた。

翌日は呉地方総監部を訪問し、幹部自衛官との懇談や護衛艦「かが」を見学。護衛艦の見学では「近くで見ると大きくて迫力がある」と初めて見る護衛艦の姿に驚いていた。

研修を終えた参加者は、「実際に広島に来て、自分が入学する学校や職場を見学できてよかった。とても参考になった」「幹部候補生学校を訪れ、いよいよだという実感が湧いてきた。大変だと思うが4月から精一杯頑張りたい」と前向きに話していた。

静岡地本は、これからも入校・入隊が決まった学生やまだ受験を迷っている若者に対してそれぞれの確かなアドバイスやサポートを行い、安心して入隊・入隊できる態勢を整えていく。

## 地本募集課長による「高等学校訪問」



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月9日（木）と10日（金）、磐田北（磐田市）、磐田農業（同市）、袋井商業（袋井市）、遠江総合（森町）、掛川東（掛川市）、掛川工業（同市）、横須賀（同市）、小笠（菊川市）、菊川南陵（同市）、池新田（御前崎市）各高校において、募集課長・伊東宏之2等陸佐による「高等学校訪問」を実施した。

これは、募集課長から県内高等学校の進路課長もしくは就職担当教諭に対し、自衛官制度及び今年度の募集状況について説明するとともに、学校における就職状況を確認し、11月、12月、来年2月に実施予定の自衛官候補生採用試験への受験促進を目的に実施している。

当日は、伊東募集課長と袋井所長・湯浅幸典2等空尉が各学校を訪問し、募集課長から担当教諭に対し自衛官候補生の制度及び今年度の募集状況を説明した後、学校の就職状況を確認、今後の自衛官候補生採用試験日程を案内し、公務員希望者に対する自衛官候補生採用試験への併願等受験促進を依頼した。

説明を受けた教諭からは「自衛官候補生制度は、任期満了退職手当が支給されるだけでなく再就職もしっかりと面倒を見てもらえるというので、安心して送り出せる印象を受けた」「公務員希望者で自衛隊に興味のある生徒にはしっかりと制度を説明してあげたい」といった声が聞かれた。

静岡地本は、今後も各学校等と積極的に意見交換し、自衛隊に対する認識と理解の向上に努め、将来の自衛隊を担う優秀な若者の獲得に全力を尽くす。

## 「森町産業祭」で自衛隊をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月19日（日）、森町文化会館駐車場（周智郡森町）で行われた「第30回森町産業祭」において広報活動を実施した。

これは、森町産業祭実行委員会が主催し、同町の産業や特産物を町内外に紹介し活力ある産業の振興を図る目的で例年開催しているもの。イベントには公安関係の職種も参加し、警察によるパトカーと白バイの展示や消防によるはしご車体験も行われており、自衛隊は今年が初めての参加となった。

当日は風が強かったものの晴天に恵まれ、会場にはメインステージのほか140を超える出店が立ち並び、約23000人も来場者で大いに賑わった。

静岡地本は広報ブースを出展し、家族連れや地元の子生などに自衛隊の装備が写った缶バッジや募集チラシの配布、自衛隊イベントの紹介、希望者に対し自衛官採用制度説明などを行い、ブースには300人を超える来場者が訪れた。

静岡地本のマスコットキャラクター「しずぼん」の缶バッジを受け取った子供は「しずぼんを初めて知った。かわいい」と喜んでくれた。また、産業祭にボランティアで参加していた中学生は「将来何になるかはまだ決めていないが、人の役に立つ仕事かしたい。自衛隊なども視野に入れて考えたい」と話していた。

静岡地本は、今後も西部地区の市町と緊密に連携し、担当地域における広報活動を積極的に行い、地域住民の自衛隊に対する認識と理解の向上に努め、ひいては防衛基盤の強化を図っていく。